

ランパチ川合流点



ランパチ川本流

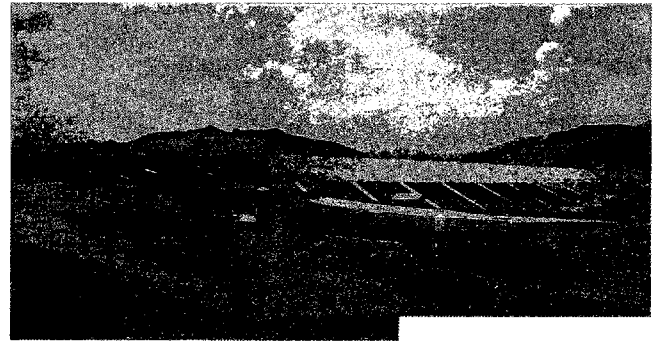


浸食河岸

【ランパチ川上流域】



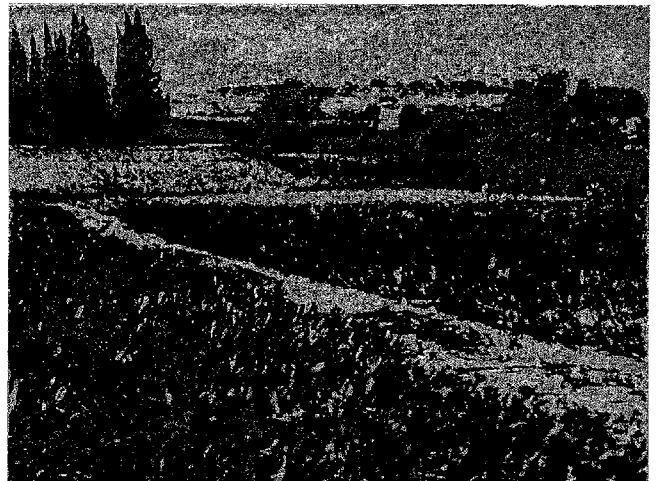
上流域のTha Khoei村付近、ランパチ川支流のひとつに建設されたダム貯水池。キングプロジェクトとして2001年末に完成し、現在貯水位が上昇しつつある。



総工費4億6,500万バーツ、提高36m、総貯水量約2,800万t、流域面積147km²、洪水吐は18m×3門を備えている。取水は径700mmの鋼管1本で行われる。(図4-3ランパチ川流域図[B])



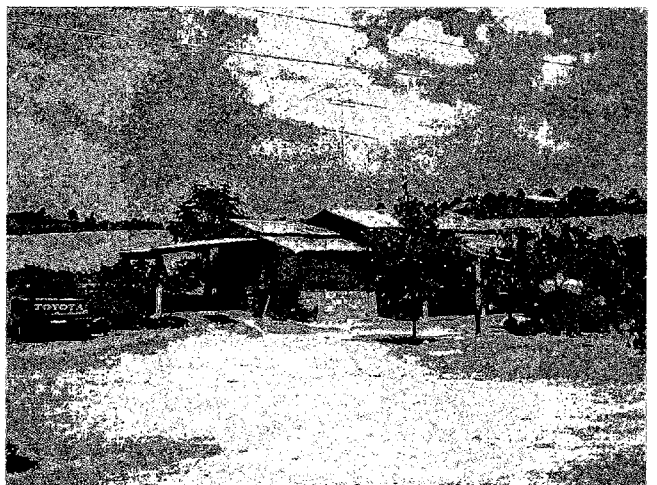
上流域の山岳丘陵地帯の農地。山腹に張り付いた傾斜畑では、パイナップルやキャッサバが多く見られる。



傾斜度3~8°程度のパイナップル畑。地力低下と用水不足が課題とされている。

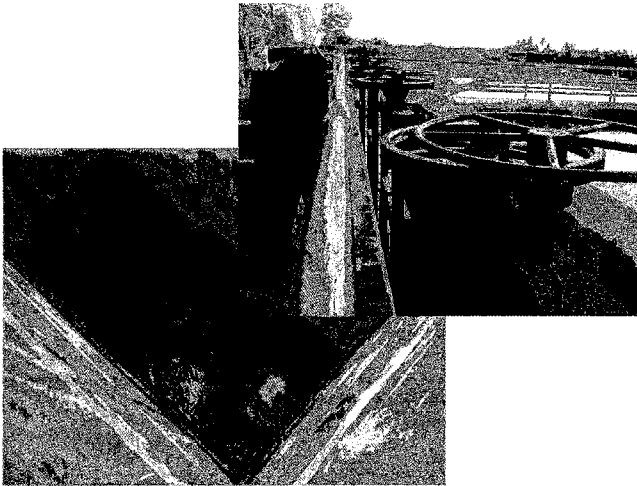


丘陵地帯の畑でもスプリンクラー灌漑施設が見られる。平野部に比較して小規模の印象がある。

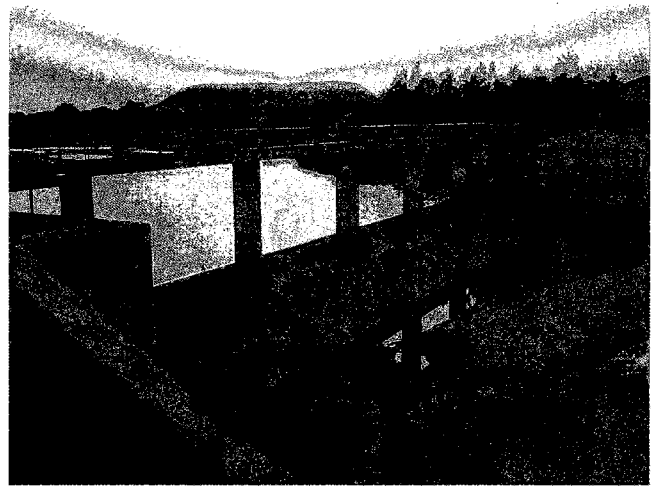


Tha Khoei村のダム付近の農家。自動車も電気もテレビもあるが、水は雨頼み。

【ランパチ川下・中流域】



右の写真の頭首工右岸に併設された取水施設、高水期と低水期の水位差が6 mほどに及ぶため吸水槽と揚水ポンプが設置されている。



Thung Krathin村付近のランパチ川に設置された頭首工。固定堰で水位調節機能や土砂吐はないため、堰上流での堆砂が問題となっている。（図4-3ランパチ川流域図 [A]）



上の写真の取水施設から流れ出す用水路。受益面積は3,000ライ、沿線には水田が目立つ。（1ライ=0.16ha）



同頭首工から数km下流のThap Tako Nok村付近。流路は蛇行し、出水時の河岸浸食の進行による沿川農地の崩落が問題となっている。



農家が個人で設置したスプリンクラー灌漑施設。面積は目測で30~50 a程度。（Thap Tako Nok村付近）



スプリンクラー用水源の浅井戸。径60mm程度で、1.5馬力の電動ポンプが取り付けられている。



聞き取り調査を行った農業者A氏の
サトウキビ畑の収穫風景



聞き取り調査を行った農業者A氏の井戸



聞き取り調査を行った農業者B氏の用水池



農業者B氏の用水池近くを流れる支流